

- 1 咲 ただいまー
- 2 依子 おかえりー。ご飯できてるよ
- 3 咲 わー！ ありがとうございます。は～、ご飯ができてるってほんっとうに最高ですねっ
- 4 依子 くすっ、今朝とおんなじこと言ってるよ？
- 5 咲 何回だって言いますよ——あ、これ依子さんのオリジナルのやつ。まかないで出した時もみんな絶賛してましたよね
- 6 依子 ふふーん、今回は少し味変（あじへん）してみたからちょっと自信あるんだよねー
- 7 咲 私これ大好きなんで楽しみですっ。あ、私も準備手伝いますね
- 8 依子 いいよいいよ、咲ちゃんはゆっくりしてて。
居候させてもらってるわけだし、コレくらいはやらないとね
- 9 咲 そんなこと気にしなくてもいいですよ、私もちゃんとやりますから
- 10 依子 いやあ、さすがに大学生のヒモは情けなさすぎるっていうか……まあ、すでに限りなく近いんだけどさ
- 11 咲 お皿こっちのでもいいですか？ でも依子さんは夢に向かって頑張ってるじゃないですか
- 12 依子 うん、ありがと——夢に向かって頑張ってるっていうのもなんだかヒモっぽいよなあ……
- 13 咲 今日もずっと描いてたんですよね？ 漫画
- 14 依子 まあ、ね。一応描き上がったし、あと少し修正したら明日には持ち込めるかもなーって感じ
- 15 咲 依子さん

- 16 依子 あー、うん。そうだね。気をつけるよ
- 17 咲 頑張るのは良いことですが、あんまり無理しないでくださいね。
前みたいに倒れたら大変ですよ。顔もだいぶ疲れてますし
- 18 依子 そうかな？ あんまり自覚はないんだけどね。
咲ちゃんが言うならそうなのかも
- 19 咲 今日は早めに寝て、修正は明日にしたらどうですか？
- 20 咲 その、あんまりこういう言い方は良くないかもしれないんですが……
- 21 咲 今回のってべ切のある賞とかじゃないんですよね？
なら持ち込む日が一日、二日遅れてもあまり影響は少ないというか
- 22 咲 あ、もちろんその一日の差で凄い作品が出てきちゃうことも無くはない
のかもしれませんが……それよりも無理をする方がリスクあるってい
うか……
- 23 依子 あはは、咲ちゃんは本当に現実的だよ
- 24 依子 見た目遊んでそうなのに超真面目優等生だし。
こーんな可愛いのに大学の男共は何やってんだか
- 25 咲 み、見た目は関係ないですよっ
- 26 依子 ん～、元が美少女だから怒った顔も可愛いんだよね
- 27 咲 もーっ、本当に怒りますよ？
- 28 依子 ん。でもそうだね、その方がいいかも。そうする。ありがとね、咲ちゃん
- 29 依子 咲ちゃんには助けられっぱなしで申し訳ないな～
- 30 咲 困った時はお互い様ですから
- 31 依子 ありがたいお言葉なんだけど、ほんとわずか数ヶ月でそんなことあるか
ってくらいの転落っぷりだよ

- 32 依子 バイト先で倒れて入院して、そのままクビになったと思ったら、
すぐアパートも追い出されるし
- 33 依子 たった数か月家賃滞納しただけで追い出すなんて鬼だよ、鬼
- 34 咲 正確には六ヶ月と十五日ですけどね
- 35 依子 そだっけ？ はいコレ咲ちゃんの分——それで咲ちゃんが
「ウチどうですか」って言ってくれた時はほんと神様かと思ったんだから
- 36 依子 とは言え、あんまり咲ちゃんに甘えてるわけにもいかないしね。
今回ので手ごたえが無かったら出来そうなバイトとか、移れそうなアパートとか
ちょっと探してた
- 37 咲 そう……だったんですか
- 38 依子 うん。——これでよしと。まあ、私の話なんて置いといて、食べよっか
- 39 依子 咲ちゃん……？
- 40 咲 あの……もしお仕事始めても、ここにいたらどうですか？
- 41 依子 え？
- 42 咲 ちょっと狭いかもしれませんが、寝る場所も一緒にすれば作業スペースだって
もっと取れますし、家賃だって折半なら私もバイトの時間を減らして勉強できますし
——
- 43 咲 あ、ほら家事だって当番制にすればお互い負担も軽くなりますよ。
それに、それに……
- 44 咲 そうやって余裕ができたなら、もっともっと描けるかもしれないじゃないですか。
賞は来年もあるし、持ち込みだって続けていけば目に留まることだってありますよね
- 45 依子 咲ちゃん……
- 46 咲 いい事だらけですよ？ 違いますか？

- 47 依子 それは……そうかもしれない、けど
- 48 咲 何が問題なんですか？ 別に私は迷惑なんてしてません
- 49 咲 私は……、私は依子さんのことが好きなんですっ。
依子さんの漫画を描いてる姿が……、夢を叶えるんだって胸を張る依子さんに憧れて
るんです。一緒にいたら私にも依子さんのように胸を張れることが見つかるかもしれ
ないって、やっとそう思えたのに……
- 50 咲 っ！ 私、依子さんと一緒にいたいです！ 依子さんと同じ世界を見たいっ！
依子さんの夢と一緒に追いかけたいんですっ
- 51 依子 咲ちゃん……
- 52 咲 ぐすっ……。//(省略可) わがままだってことは分かってます。
依子さんが私のことをどう思っているか構いません。
ただの便利な女だっていいんです……それじゃあ、駄目ですか？
- 53 咲 ……すみません。こんな事言われても気持ち悪いですよ。忘れてください。
……食べましょう。せっかく作ってくれたのに冷めちゃいます———
- 54 依子 咲ちゃん
- 55 咲 ……
- 56 依子 私も咲ちゃんのが好き。叶うならずっと一緒にいられたらって思うよ。
だから咲ちゃんの気持ちはすごく嬉しい
- 57 咲 っ…… //(息をのむ。省略可)
- 58 依子 でもね——だからこそたぶん私は咲ちゃんに甘えたくないんだ
- 59 咲 …… //(セリフなし。間を取るだけ)
- 60 依子 だからね、
- 61 依子 待っててくれないかな

- 62 依子 私が区切りをつけて、咲ちゃんとちゃんと向き合えるようになるまで
- 63 咲 っ！ でもっ—— //(言おうとして口を噤む)
- 64 咲 そんなの……
- 65 咲 そんなの、いつになるか分からないです……………
//↑(だんだんと弱々しく、絞り出すように)
- 66 依子 あはは //(苦笑い) 、相変わらず咲ちゃんは厳しいなあ
- 67 依子 んー、そうだなあ……
- 68 依子 じゃあ、こうしよう
- 69 依子 咲ちゃんが大学を卒業するまで。それまでに必ず答えを出すから
- 70 咲 卒業するまで？
- 71 依子 うん。その時がきたら私から咲ちゃんの気持ちを聞きに行く。
もしも、本当にもしも咲ちゃんの気持ちが変わっていなかったら、
改めて一緒にいて欲しい
- 72 咲 どうする、つもりなんですか？
- 73 依子 咲ちゃんが言ってくれたでしょう
- 74 依子 漫画家になる夢を追いかけたいの。でもこれは私の夢だから、私一人で頑
張りたい
- 75 依子 少なくとも一人で駄目だと思うところまでやってみたい
- 76 依子 咲ちゃんがこんなに推してくれる夢だからね。
きっとそれは、そのくらい価値があることなんだって思えたから
- 77 依子 まあ、咲ちゃんならいい人たくさん見つかるだろうから、もしそんな人が
できたら私のことは気にせずその人と幸せになってね

- 78 咲 大丈夫ですよ。私は依子さん一筋ですから
- 79 依子 ……うん
 //（「うん。そうだね」のトーン。気持ちを受け止めるように優しく頷く）
- 80 咲 私よりも依子さんの方が心配です
- 81 依子 そりゃ咲ちゃんほど生活力ないけど、一人で生きていくくらい――
- 82 咲 そうじゃなくて、その
- 83 咲 依子さんの気持ちがどこかにいっちゃうんじゃないかって……
- 84 依子 咲ちゃんとの約束を違（たが）えるようなことはしないよ。私が約束守らなかったことある？
- 85 咲 大家さんにはいっぱい言い訳してました
- 86 依子 うっ、それは……
- 87 咲 あははは。そうですね、依子さんならきっと大丈夫だと思います
- 88 依子 そうだよ。私だって咲ちゃんのこと好きなんだから
- 89 咲 （私がいなくても、依子さんならきっと叶えられる）
 //↑（小声で、囁くように）
- 90 依子 咲ちゃん……？
- 91 咲 いえっ、えへへ、それじゃあ私は依子さんをしっかり養えるように就活
 気合い入れないとですねっ
- 92 依子 それ私の夢破れてるよね？！